

2016年度 第5回 特定非営利活動法人サロン2002 理事会 議事録

【日 時】2017年3月10日（金）18:10～20:10

【会 場】KIZUNA 会議室（東京都中央区八重洲1-6-14 ISO 八重洲201）

【出席者】理事：中塚義実、笹原勉*、嶋崎雅規、関谷綾子*、本多克己
事務局：岸卓巨*、遠山諒

*：遅れて参加

【欠席者】理事：安藤裕一、竹中茂雄、松下徹
事務局：春日大樹
監事：茅野英一

【議事録作成者】遠山諒

【議題】

I. 2016年度を振り返って

1. 月例会
2. 公開シンポジウム
3. 各事業
 - ①U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ2017
 - ②クーベルタン-嘉納ユースフォーラム2017
4. 年報
5. 決算案

II. 2017年度へ向けて

1. ユース年代（U-18 またはU-15）のフットサル事業への関わりについて
2. DUO リーグとの業務提携について
4. サロン2002の20周年&月例会250回へ向けて—公開シンポジウム2017
8. 総会と付帯イベント

III. その他

*議題の番号は、資料「2016年度 第5回 特定非営利活動法人サロン2002 理事会 議題」の番号に対応。

I. 2016年度を振り返って

1. 月例会

嶋崎理事より、2016年の月例会報告書については3,5,8月が未完であることが報告された。

3月については、演者の田村修一氏に確認が取れていない状況であることが報告された。講演の音声記録できていなかったため、簡易版の報告書を作成して掲載することが確認された。

5月については、作成者から完成版が届き、演者の確認が取れたため、嶋崎理事がもう一度確認・修正をし、中塚理事長が確認後、ホームページに掲載することとなった。

8月については、作成者から送られてきた報告書の容量が大きいため、容量を減らしてもらうように連絡することとなった。

2017年の1,2月の報告書も含め、2016年度の報告書は年度内の完成を目指すことが確認された。また、報告書の内容の確認に時間がかからないようにするため、報告書は演者本人または出席した方に作成してもらうようにすることが確認された。

2. 公開シンポジウム

報告書については、年度内の完成を目指すことが確認された。

協賛広告の掲載についての案内を出していなかったため、改めて全体に発信することとなった。サロンの賛助会員の広告掲載についても、案内を作成して配信する必要があることが確認された。

頒価については、平成 28(2016)年度活動予算書と合わせるためにつけないこととなった。

作成部数については、昨年は 150 冊作成したが、今回は 100 冊追加して 250 冊作成することが中塚理事長から提案された。冊数については、シンポジウム報告書作成メンバーで検討することとなった。また、賛助金を出してくれた団体・個人には、金額に応じた冊数を配布することが確認された。

報告書作成にどれだけお金をかけられるかを確認するため、笹原副理事長を中心に、シンポジウムの決算を確認することとなった。

3. 各事業

①U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ 2017

本多理事より、報告書はすでに完成しており対外向けには配信していたが、会員・メンバーには配信していないため、後日、本多理事からスポネットのメーリングリストに配信することとなった。

②クーベルタン-嘉納ユースフォーラム 2017

中塚理事長より、クーベルタン-嘉納ユースフォーラム 2017 が開催され、第 11 回国際ピエールド・クーベルタンユースフォーラム（2017 年 8 月 19～26 日、於エストニア共和国）に日本代表チームとして派遣する 7 名の生徒が選ばれたことが報告された。後日、中塚理事長が報告書をスポネットのメーリングリストに配信することとなった。

4. 年報

嶋崎理事が作成した年報の目次が確認された。

年報のタイトルは、平成 28 年度事業計画書に対応させるために、「2016 年度活動報告書」とすることとなった。また、目次については、平成 28 年度事業計画書の枠組みに対応するように、事業名ごとの目次を作成し、その中に具体的な項目を入れることとなった。また、事務局報告の項目は無くし、「会員・メンバー数、会費納入状況など」の項目は「人的ネットワーク拡充・管理運営事業」の枠組みの中に入れることになった。新しい目次については、嶋崎理事が作成し、後日配信することとなった。また、会員から寄稿を募集することとなった。

各項目の担当者と報告書の書式は以下の通りとなった。

はじめに（中塚理事長）

月例会活動報告（安藤理事）

公開シンポジウム（春日事務局長補佐）

「DUO リーグ」事務局業務受託（事務局）

U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップ 2017（本多理事）

GAVIC Cup ユースフットサル選抜トーナメント 2016（本多理事）

クーベルタン-嘉納ユースフォーラム 2016（中塚理事長）

スキンプロジェクト（岸事務局長）

ノンボーダーフットボール（春日事務局長補佐）

Sport for Tomorrow（岸事務局長）

会員・メンバー数、会費納入状況など（事務局）

振り返って（笹原副理事長）

【書式】 用紙 … A4 タテ 横書き
余白 … 上 25mm、下 20mm、左右 20mm
文字数 … 45字、45行

5. 決算案

松下理事と事務局で相談しながら作成することが確認された。

II. 2017年度へ向けて

1. ユース年代 (U-18 または U-15) のフットサル事業への関わりについて

本多理事より、日本フットサル連盟の松井氏との打ち合わせ (2017年3月10日) について報告された。また、サロンと各種フットサル事業への関わりや、サロンの主催事業の決め方について、理事会出席者で議論した。

3月の月例会は、フットサルの現状を確認し理解を深める機会とするとともに、全国のフットサル関係者、およびサロン2002のメンバーと、何ができるかを話し合う機会とすることが確認された。

○GAVIC Cup ユースフットサル選抜トーナメントについて

2014年度にU-18フットサルトーナメントが日本サッカー協会主催の大会になったことで、差別化を図るため、この大会は選抜大会となった。2015年度からは、この大会にサロンは共催となっている。

2017年度 (2018年3月) は和歌山での開催が決定している (和歌山での開催になった理由は、日本フットサル連盟が西日本で大会を開催したかったため)。サロンとしては2016年度は共催だが、2017年度は後援または協力となり主な担い手からは外れることが確認された。

この大会の2018年度以降の開催については、日本フットサル連盟の検討によっては大会が無くなる可能性があることが報告された。

この大会は現在、フットサル連盟が申請している toto 助成金と GAVIC の協賛金で成り立っている。サロンではU-18フットサルリーグチャンピオンズカップに対する助成を申請済

○U-18フットサルリーグチャンピオンズカップについて

日本サッカー協会や日本フットサル連盟は8都道府県だけの全国大会は開催できないため、この大会はサロンが単独で主催するのがいいのではないかと提案を日本フットサル連盟から受けた。サロンとしても、この大会は単に日本一を目指すことを助長するためではなく、全国大会があることで地域のリーグを盛り上げるためのものであり、この大会をサロンの単独主催で開催し、toto 助成を受けながら来年度も継続していきたいとの考えである。サロンの単独主催となる場合は、サロンが出場資格を設けて、各チームからサロンに直接参加を申し込んでもらう方法を検討している。

また、サロンが永続的に主催するのではなく、将来的には日本サッカー協会や日本フットサル連盟が主催・主管するべきであるという考えである。そのため、サロンの単独主催大会になったとしても、このことはしっかりと協会・連盟に認識してもらおうことが確認された。

○フウガドールすみだのU-15フットサル大会について

この大会の toto 助成申請については、平成30年度以降にサロンがこの大会の toto 助成の受け手となる可能性があることを見据えて、サロンを共催として申請してもらうこととなった。最終的にサロンが共催するかどうかについては、今後、理事会、総会などで議論することが確認された。

○主催事業の決め方について

理事会開催前に、安藤理事と会員の梅本氏から、サロンの意思決定のプロセスに対する意見が出された。サロンが関わる事業について、どのような方法で会員の合意を得るかについて話し合われ、以下のことが確認された。

・これまでは、話し合いが理事の中で閉じている、または理事の中で話が進んでしまっている傾向があった。どこからその事業案が出てきたのかが会員とメンバーに見えるようにすることは大切である。今後は、事業内容にもよるが、話し合いの初期の段階から、ある程度形になった素案を会員とメンバーで共有し、理事会や総会で議論・決定する前に意見を募る機会を設ける。

・理事と会員との間で情報格差が生まれないようにするために、NPOのメーリングリストを使って情報を共有する。また、理事会の議事録なども共有する。

・総会では、事業について丁寧な説明をしていくことが必要である。

・事業計画書に無い事業を行おうとする際には、臨時総会を開くことが必要である。

・これからのサロンを考える月例会を開催し、議論の時間を設け、意見を募る。

また、会員とメンバーに流す情報の種類(どの情報を会員だけに流し、どの情報を全体に流すのか)については、今後検討していく必要があることが確認された。

2. DUOリーグとの業務提携について

業務委託契約書について確認され、承認された。

業務委託契約書の第1条の(2) DUOリーグホームページの運営と管理 について、DUOリーグホームページの更新が滞っていた。今後は、情報が集まったときに本多理事が随時更新することとなった。

業務委託契約書の第1条の(4) DUOリーグ通信の編集、配信について、現在配信ができていない状況である。誰が通信を配信するのかについては、次回のDUOリーグ理事会で確認することとなった。

業務委託契約書の第1条の(7) DUOリーグの理念を具現化するための各種プロジェクトの企画について、今年は2017年7月17日(月・祝)のイベントデーに向けてサロンで何か企画をすることが確認された。

2017年2月19日(日)に、2017年度前期第一回DUOリーグ会議が開催され、事務局の岸と遠山が出席した。

2017年度前期DUOリーグのGoal Noteを事務局の遠山が開設した。Goal Noteへのプレイヤー名の入力については、事務局の作業量が膨大になってしまうため、各チームに入力してもらうこととなった。

3. サロン2002の20周年&月例会250回へ向けて公開シンポジウム2017

中塚理事長より、月例会250回前後で、サロンについてフリーに話し合える場を設けることが提案された。

公開シンポジウム2017の予定については、シンポジウム報告書を年度内に完成させなければならないことを考慮して、夏頃の開催を検討することとなった。

4. 総会と付帯イベント

2017年6月10日(土)15時から総会が開催されることが決定した。また、総会終了後、引き続き17時から月例会が開催されることも決定した。

Ⅲ. その他

本多理事より、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーにNPO法人サロン2002を申請することが提案された。

【議事録署名人】嶋崎理事、本多理事